

マックス株式会社 2027 年3月期 第1四半期決算説明会 質疑応答録

この質疑応答録は、2026 年 7 月 30 日（木）に開催したアナリスト、ファンドマネージャ向け決算説明会電話会議にて、ご参加の皆さまからいただいた質問とその回答の概要です。

■インダストリアル機器部門について

〔質問 1〕

欧米において鉄筋結束機の機械・消耗品の販売数量が伸長していますが、今後も好調を維持するのか、見通しを教えてください。

〔回答 1〕

欧米ともに住宅市場は依然として低調ですが、鉄筋結束機の需要が高い非住宅市場は今後も堅調に推移すると見ています。北米ではディーラーの開拓・育成が進展しており、需要に応えられる体制が整ってきています。欧州では東欧・南欧での市場開拓の進展に加え、主要エリアである北欧・西欧でも販売が伸長しています。市場環境や販売体制を踏まえ、今後も堅調な推移が期待できると考えています。

〔質問 2〕

欧州では、レンタル業者による機械（鉄筋結束機）の更新需要も販売拡大に寄与していると考えてよいでしょうか。また、北米においても更新需要は見られるのでしょうか。

〔回答 2〕

特に北欧ではレンタル市場が一定規模あり、市況悪化時には売上が落ち込んでいましたが、約 1 年前から需要が回復しています。レンタル業者の更新需要も欧州の販売拡大を支える要因の一つと考えています。北米においては、2017 年に発売した初代「ツインタイア」からの買い替え、買い増し需要が、機械数量の伸長につながっている要因の一つとなっています。

■全社状況について

〔質問 3〕

米国関税の還付の見通しについて教えてください。

〔回答 3〕

現地販売拠点が米国当局と協議を進めており、還付を受けられる見込みと考えています。ただし、現時点において還付金は業績予想には織り込んでいません。

〔質問 4〕

還付金の規模感について教えてください。

〔回答 4〕

具体的な金額は差し控えますが、これまで支払っていた関税が戻る形となるため、一定規模の金額になると見込んでいます。

〔質問 5〕

第 2 四半期の利益率が第 1 四半期に比べて低下する計画となっている理由を教えてください。

〔回答 5〕

主な要因は、為替影響と販管費の増加を見込んでいるためです。為替については、想定レートを前回計画より円安方向に見直したものの、第 1 四半期実績や足元の為替水準と比べると円高水準となるため、その差分について利益へのマイナス影響を見込んでいます。また、販管費についても第 1 四半期より投下を増やす計画としています。なお、経常利益については営業外為替差損も計画に織り込んでいます。実際の為替動向によって実績が変動する可能性があります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する内容は、当社が 2026 年 7 月 30 日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。